

【改善箇所説明図 1】



【不具合発生箇所】

ヒューズラインからの配線施工が不適切なため、前照灯点灯状態で方向指示器を作動すると、方向指示器の点滅にあわせて、尾灯の電流値が、増減することにより尾灯の光度が増減する。

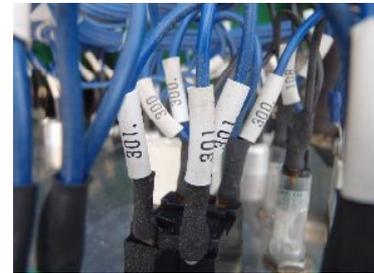
改善前



(電源ラインヒューズ部)



(バッテリーリレー配線部)



(スイッチ配線部)

改善後



(指示器用ヒューズを追加)



(指示器用配線を追加)



(指示器用配線を分離)

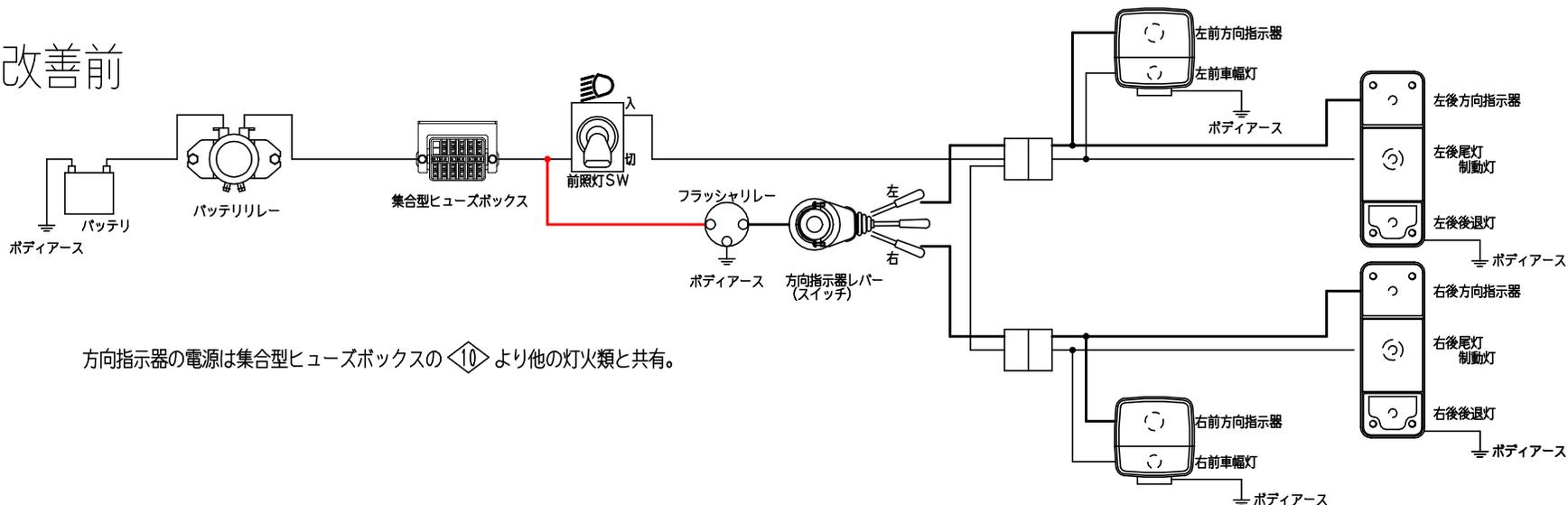
注：○内は、追加部品を示す。

改善内容

前照灯と車幅灯及び尾灯の電気回路から、方向指示器を独立するように配線及びヒューズを追加する。

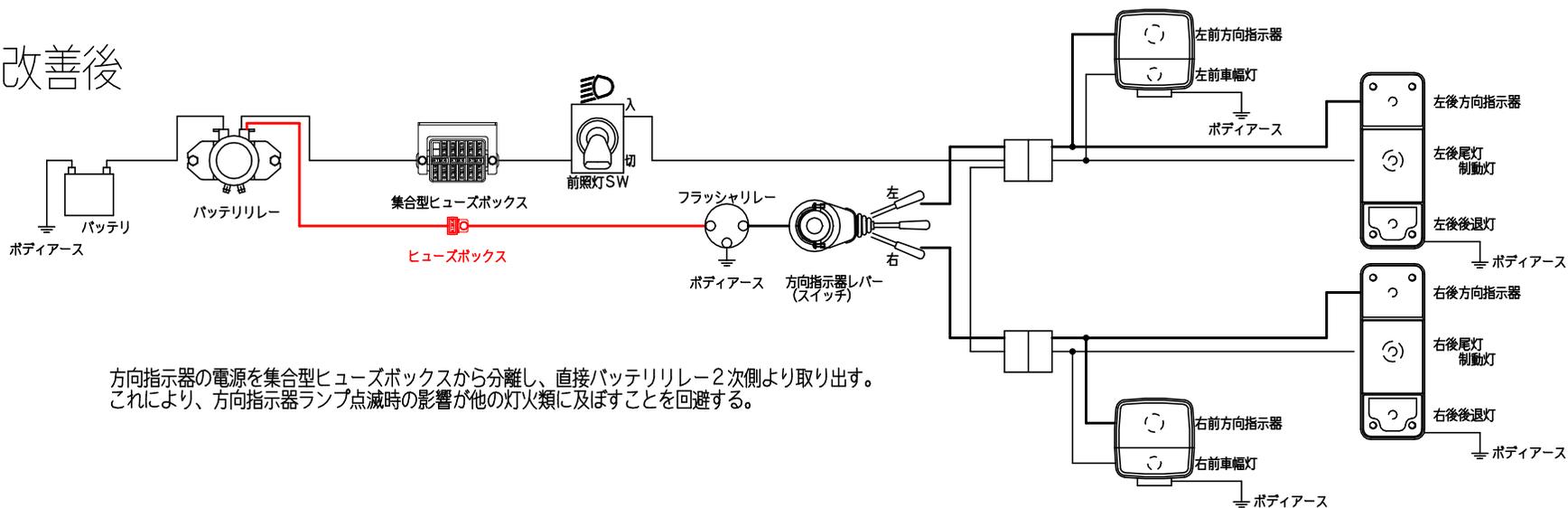
【改良箇所説明図2】 灯火類電気配線接続簡略図

改善前



方向指示器の電源は集合型ヒューズボックスの⑩より他の灯火類と共有。

改善後

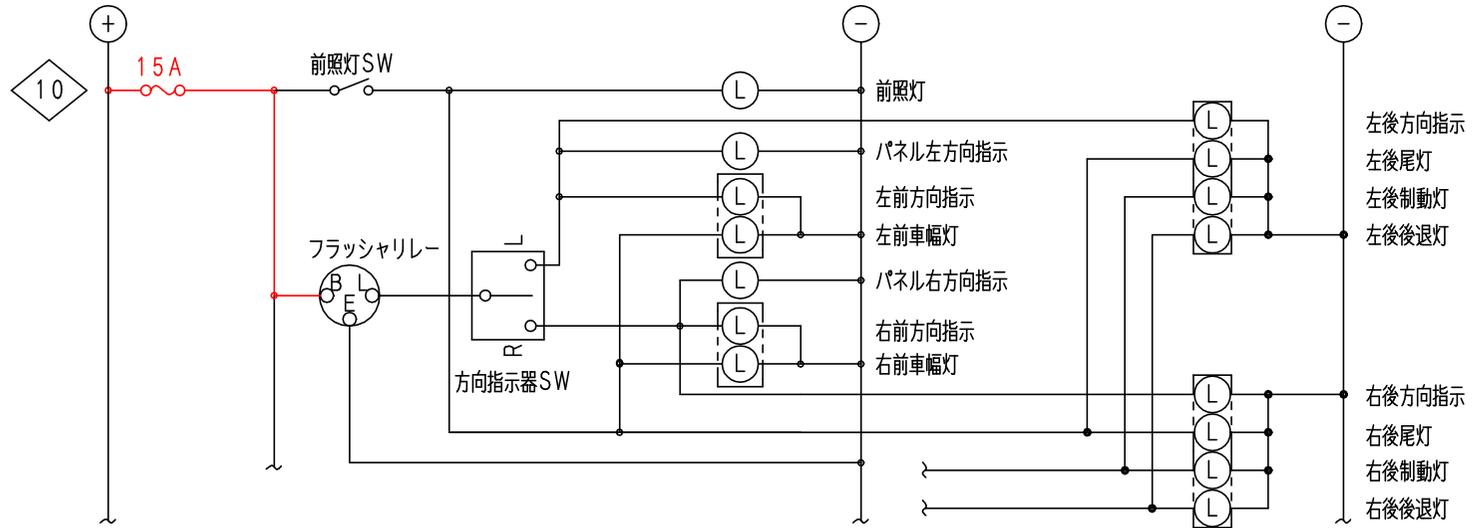


方向指示器の電源を集合型ヒューズボックスから分離し、直接バッテリーリレー2次側より取り出す。これにより、方向指示器ランプ点滅時の影響が他の灯火類に及ぼすことを回避する。

【改良箇所説明図3】

電気回路図

改善前



改善後

